## IZUMIGAOKA Next Design (案) についての ご意見の要旨と本協議会の考え方

	ご意見の要旨	協議会の考え方
	「IZUMIGAOKA Next Design」というネーミング	泉北ニュータウンの将来像と今後の取組の方向性
	より「泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョン」の方が分か	を示した「SENBOKU New Design」のコンセプ
	りやすい。書いている中身は日本語なので、違和	トを反映した上で、現行の泉ヶ丘駅前地域活性
	感しかない。	化ビジョンを抜本的に見直し、未来の世代まで豊
1		かに暮らしやすい泉ヶ丘をめざすことを表すことか
		ら、新たなビジョンの名称を、「IZUMIGAOKA
		Next Design」としました。ご意見を踏まえ、表紙
		に「泉ヶ丘ネクストデザイン」の日本語表記を追記
		します。
2	P13 2.課題と取組箇所について	公的賃貸住宅は、各住宅事業者の計画のもと、
		建設年代や住戸のバリアフリーの状況、団地ごと
	若松台 1 丁、2 丁の府営住宅を低層住宅に改	の需要や立地環境等に応じて、再編・整備、機
	修し、バリアフリー化を進めてほしい。	能向上、維持保全等の適切な事業手法を選択
	P16 重点施策①ダイナミックな土地利用転換の	して実施します。
	推進	いただいたご意見は関係者と共有しながら今後の
	50年に一度の大規模土地利用転換の時期の	事業の参考とさせていただきます。
	機会を捉えて、先行して公的賃貸住宅(府営団	
	地)の建替えと更新(耐震化)が必要である。	
3	・4階程度の階高とし、バリアフリー化にして障害・	
	高齢による車椅子ユーザーの入居に対応	
	・一部高層化し、若年・子育て世代向け住宅を整備	
	・駐車場を外周部に配置することで内側のパブリッ	
	クスペースを確保	
	・ゴミステーションのバリアフリー化	
	P16 重点施策①ダイナミックな土地利用転換の	
	推進 取組方針	
4	P5の対象区域内に立地する公的賃貸住宅(府	
	営住宅)は P16 の取組方針のとおり、建替えや	
	住戸リノベーション、機能導入を促進してほしい。	
	P16 重点施策①ダイナミックな土地利用転換の	現状の車両が輻輳する状況は、交通管理者であ
5	推進	る警察や道路管理者にご意見をお伝えします。 🛭
	駅南側の□−タリースペースの大規模な変更を希	-タリ-整備に関するご意見は関係者と共有しな
	望する。現状、車椅子スペースでは病院等の送	がら今後の事業の参考とさせていただきます。
	迎車と一般車が無秩序に駐車するため、朝・夕の	
	混雑が著しい。一般車のロータリーをビッグバン平	
	面駐車場部分に移設できないか。	

	ご意見の要旨	協議会の考え方
	P17 重点施策②若年層·子育て世代の誘引	いただいたご意見は関係者と共有しながら今後の
	駅前商業施設には、公的賃貸住宅の住戸リノベ	事業の参考とさせていただきます。
	ーションや趣味の DIY 等の居住者ニーズに対応し	
	たテナント(ホームセンター、家電量販店等)を	
6	入れ、団地への配送サービスを展開してほしい。ま	
	た団地内ステーションを設置し、荷物の預かりや子	
	育て相談窓口等を行うことで、入居促進につなが	
	るのではないか。	
	P17、34、35 近畿大学医学部・大学病院に	ご意見を踏まえ、P35 の 2 つ目について「近畿大
	関する記述について	学医学部等の大学と連携し地域における健康講
7	近畿大学医学部・大学病院の開設が目前に迫っ	座や講演会の実施等、健康増進の取組を充実
/	ているにもかかわらず、取組内容に具体性が欠け	させる。」に修正します。
	ている。取組例などで具体的な内容を記載すべき	
	ではないか。	
	P16~18 重点施策①~③も重要だが、ここに	災害に強い街づくりは非常に重要な取組の一つと
	「防災力のある街づくり」も入れて頂きたい。	認識しています。
	特に緑道沿いの築年数が50~60年経った団地	公的賃貸住宅の改善に関しては、本協議会で策
	は早急に建て替え、防災力の住宅にしていただき	定した「泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画
8	たい。根本的に防災力がある住宅でないと、若年	(令和4年4月改定)」に基づき、災害発生時
	層・子育て世代の誘引につながらないと考える。	における駅前としての公共機能や耐震性の確保
	今後想定される地震や豪雨等、突然発生する災	等を含め、住宅事業者において適切な事業手法
	害にも強い街づくりがベースだと考える。	により対応を検討します。今後予定される建替え
		等による施設更新や土地利用転換により、建築
		物や公共導線の安全性を確保し、災害に強い街
		に向けた取組を着実に進めます。
	P23 シンボルコア(泉ケ丘駅北エリア)	ロータリー整備に関するご意見は関係者と共有し
	駅前交通広場において、特に車椅子スペースと一	ながら今後の事業の参考とさせていただきます。ま
	般送迎車のゾーンを分離して欲しい。	た、現状の車両が輻輳する状況については、交通
9	車椅子スペースでの長時間駐停車により、マイクロ	管理者である警察や道路管理者にご意見をお伝
	バス等の送迎車がロータリーのカーブ部分で切り返	えします。
	しが出来ないケースがある。また、必要に応じて啓	
	発の案内サイン等を明示してほしい。	
10	P27   居住創造ノースコア   今後の取組例	「地域医療福祉拠点化」は、UR 都市機構の取
	「地域医療福祉拠点化」の取組内容について、	組であり、地域の関係者と連携・協力しながら、
	今後どう取り組むのかが分からない。愛知県豊明	豊かな屋外空間を備え、多くの方々が住まう団地
	市の豊明団地における「ふじたまちかど保健室」の	を"地域の資源"として活用し、地域に必要な住
	ような相談拠点の導入などを参考にした取組が行	宅・施設・サービスの整備を推進するものです。
	われることを期待する。 	いただいたご意見は関係者と共有しながら今後の
		事業の参考とさせていただきます。
1		

	ご意見の要旨	協議会の考え方
	P34 教育・健康コア	本ビジョンの対象区域は、地区センターの中心から
	近畿大学のみの記述だが、帝塚山学院大学とも	の徒歩圏内(約 800m)としており、その区域
	連携して、泉ケ丘駅周辺の活性化につなげていく	内の新たな機能導入・価値創造の拠点となるエリ
	べきではないか。	アを「コア」と設定しています。そのため「教育・健康
		コア」は、当該エリアに開設する近畿大学医学部・
11		大学病院を中心に記載しています。
		なお、泉ヶ丘地区には高等教育施設として帝塚
		山学院大学や近畿大学医学部、大阪健康福祉
		短期大学が立地しており、これらの教育機関も含
		め、様々な主体による連携・共創により本ビジョン
		に示す将来像の実現に取り組みます。
	高齢者が住みやすいまちづくりの視点として、施設	高齢者も含め、未来の世代まで暮らしやすい駅
	のバリアフリー化や医療・介護サービス付き住宅、	前地域をめざすこととしており、ご意見の視点も重
	地域包括ケアシステムの構築を位置付けるべきで	要であると認識しています。施設のバリアフリー化
	はないか。	は当然取り組む内容であり、適宜必要な箇所に
12		記載します。
		地域包括ケアシステムに関しては既存のネットワー
		クを基本としながら、本ビジョンに基づく個別の取組
		をつなげることが重要であると考えており、その趣旨
		を踏まえて各取組を推進します。
	こどもから高齢者、障害者、外国人などこの街に	本ビジョンの上位計画であり、泉北ニュータウンの
	暮らす誰もが自己実現できることやユニバーサルデ	将来像や取組方針を定めた「SENBOKU New
	ザインなど、多様性を受け入れ、多様な住民が交	Design」において、「多様性を受け入れ、多様な
	流でき、安心して暮らせる環境づくりの視点が必	暮らし方ができる」ことや「高齢者や障害者のニー
	要ではないか。	ズに対応したバリアフリー化を促進」といった「ひとに
13		やさしいまちの推進   を掲げており、 本ビジョンもそ
		れに即して取組を進めます。
		また、本ビジョンの各コアの今後の取組例におい
		て、人々の交流拠点とする各種取組を掲げていま
		す。ご意見の視点は、適宜必要な箇所に記載し
	ルフルに目合った自たに町けらの小学校の体	ます。
	少子化に見合った泉ケ丘駅付近の小学校の統 廃合計画をデザイン化し、跡地利用計画も考え	小学校の統廃合は、堺市教育委員会において児童教等の状況を勘案し終令的に検討されます。
	発言計画をデリイン16し、跡地利用計画も考え ないと、その場しのぎになるのではないか。	童数等の状況を勘案し総合的に検討されます。     泉北ニュータウンは計画的に開発された経過か
	ないに、CV/物UVノCICはなVノCIはないが。	永北ーユーダリンは計画的に開発された経過が   ら、新たな都市機能の導入に利用可能な土地が
14		5、和たな郁巾機能の導入に利用可能な工地が     少ないため、公的賃貸住宅等の再編により創出
14		された土地は、未来の泉北ニュータウンのために有
		効活用したいと考えます。
		MINDIDICA C DYCO > 0

	ご意見の要旨	協議会の考え方
15	駅前住宅は、団地の利活用ではなく民間デベロッ	公的賃貸住宅は、各住宅事業者の計画のもと、
	パーによるマンション建設を希望する。	高経年化への対応が必要な団地は、ストック再
		生(建替え、集約、用途転換、改善)等の適
		切な事業手法を選択して実施します。
		いただいたご意見は関係者と共有しながら今後の
		事業の参考とさせていただきます。